



生徒指導部から（１年生へ）
＝未来の花を咲かせるために＝
２０２６年１０月１日

大運動会は、本校が誇る行事、いよいよ練習が本格化してきます。体力的にも精神的にもきついこともあるかもしれませんが、自分の役割を精一杯頑張ることはもちろんですが、「相手の考えに寄り添い、思いやりの心をもつこと」を忘れず、お互いを支え合い、力を合わせて、鹿工が誇る素晴らしい景色を見てほしいと願っています。多くの方に学校を見てもらう機会でもあります。当たり前前の礼儀やマナー、清掃や整頓もおろそかにならないように・・・

面接に思う。 あなたの学校はどんな学校ですか？ あなたはどんな人ですか？

面接は、ありのままの自分を見てもらう場、入社や入学の意欲を発表する場です。
面接官は人を見抜くプロ、それまでの生活や考え方、性格もすべてあらわになります。
練習を通じて、ある程度の飾り付けはできるかもしれませんが、それも限度があります。
やはり日頃から、服装や姿勢、マナーや言葉遣いなどには気を付けておきたいものです。

◎授業前後の挨拶では、次のようなことを練習しています。

気を付け＝手の中指は体側に、かかととはきちんと付け、背筋は伸ばしていますか？
発声＝相手に気持ちが伝わる元気な声は出せていますか？
礼＝背筋を伸ばしたまま、上半身を30°傾けて、3秒間。できていますか？



◎先生方と接する時は、目上の人に対する言葉遣いを練習しています。

丁寧語や謙譲語など面接で必要な言葉遣いは、一朝一夕に身に付くものではありません。
世界中の言語で最も難しいと言われる日本語です。日頃から、しっかり意識しましょう。

◎制靴や部活動バッグを整えて置く、脱いだ履き物を揃えることやイスを入れることなどは、無意識のうちにできるようにならなければなりません。

これらが習慣化されていれば、特に難しいことはありませんが、日常的にいい加減な行動が身に付いてしまっていると、面倒くさく感じてしまいます。

面接の質問ではよく「あなたの学校は、どんな学校ですか？」と尋ねられます。

すると「あいさつ日本一を目指している礼儀正しい学校です。」とか、

「部活動が盛んな学校です。」など、よいイメージの答えを返します。

少なくとも「しまりのないだらけた学校です。」などとは答えません。当然です。

あなたの今の髪型や服装は、企業や上級学校の面接を受けるに相応しいものですか？

あなた方一人ひとりが鹿児島工業高校のイメージそのものです。

決して、「面接のときだけ」にならないように、

今のうちから、自分をきちんと教育していきましょう。

お寺の廊下などに きやつかをみよ **看脚下** とか きやつかしようこ **脚下照顧** という札が立ててあります。

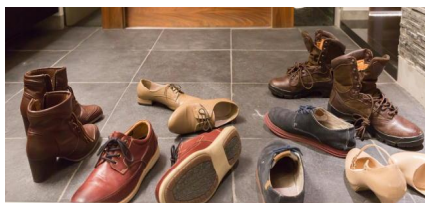
もともとは自分自身のことを省みるのを忘れないようにという禅語です。

「履き物を揃える」という次の文章は、歴史の教科書にも出てくる道元禅師の教えを

長野県円福寺住職の藤本幸邦氏が詩にしたものです。

履き物を揃えると心も揃う 心が揃うと 履き物が揃う
脱ぐときに揃えておくと 履くときに心が乱れない
誰かが乱しておいたら 黙って揃えておいてあげよう
そうすればきっと 世の中の人の心も揃うでしょう

来た道を振り返り、靴を揃えるのは、次なる行動（将来）のためでもあります。



どちらの家庭で育った子が人への気配りができるようになりますか。
自分の将来を見据えて、しっかり歩いていける人になれるでしょうか。



教室の棚は、きちんと整頓できていますか？ 部室が雑多な物置になっていませんか？
あなたのいないあなたの場所は、あなたの姿を表しています。